

福山市

議会報告

文教経済

企業1社に公金支出

2月12日、福山市議会常任委員会が開かれました。日本共産党市議団の質問など、概要をお知らせします。

ちよっとおかしくない？



公平性と透明性を

議会軽視は許されない

福山市は、今年3月に高等学校を卒業する市内の学生に対し、スーツの購入費用を補助するクーポン券を、紳士服大手の青山商事と合同で発行しています。

河村ひろ子市議が「他の衣料品店への影響を考慮したのか」とただすと、青山での購入が中心になると想定していたことを認めました。

議会の審議を経ずに、実施したことも問題です。通常、市は様々な事業を予算案として議会に提出し、議員は改善策や問題点を議論した上で賛否を採決します。

市内の青山3店舗でスーツなど2万5千円以上を購入した場合に限り、2万円を補助し、市と青山が1万円ずつ支出します。

市は「コロナ禍の影響を受けた学生の新たな門出を応援するため」と説明していますが、その趣旨は賛同できません。その趣旨は賛同できません。その趣旨は賛同できません。

河村市議は「地方自治法は、地方自治体の補助金支出は、公益上必要な場合と定めている。透明性や公平性を確保し、説明責任を果たすことが求められる」と指摘しました。

民生福祉

第8期の介護保険料、すえおきの方針

65歳以上の人が払う介護保険料は、3年ごとに見直しをします。

2倍にまで高騰しています。払えずに滞納した人は、1573人に上り、その理由は「生活困難」が半数を超えます。

日本共産党市議団は引き続き、保険料の引き下げや減免制度の拡充を求めます。

市は、2021年度からの第8期の保険料を、第7期と同額とする方針を示しました。2期連続のすえおきです。

新型コロナウイルスのワクチン接種について、政府から自治体への情報提供が不十分なために、混乱が広がっています。

剛史市議が「体制の充実が必要」と求めると、市は「検討したい」と答えました。政府は、スケジュールありきではなく、自治体と丁寧連携し、安全性など市民への情報公開も徹底するべきです。また、医師や看護師の協力を得るためにも、医療機関の減収補てんが必要です。

基金18億円を活用

コロナ禍を考慮し、保険料を引き上げないために、介護給付費準備基金から約18億円を活用することです。

市は、現状について「会場や医師の確保など、課題は山積している」と述べました。

市は、現状について「会場や医師の確保など、課題は山積している」と述べました。

母子支援「久松寮」なくすな

市は、母子生活支援施設「久松寮」を、今年度末で廃止する方針を示しました。

活を送るための施設です。コロナ禍で女性の貧困が深刻化する中、その役割はますます重要です。日本共産党市議団は存続を求め、代表質問でも取り上げる予定です。

活を送るための施設です。コロナ禍で女性の貧困が深刻化する中、その役割はますます重要です。日本共産党市議団は存続を求め、代表質問でも取り上げる予定です。

議員団ニュース

発行 日本共産党福山市議会議員団 福山市津之郷町津之郷 970-1

日本共産党



高木たけし 084-972-6830



河村ひろ子 084-965-6049



みよし剛史 090-1182-3973